

からがらす

令和7年2月

63号

第6回
全国農業担い手
サミットinさが



未来にはばたく農業者の祭典が

開催されました！

1月22日、23日に佐賀県内で「全国農業担い手サミットinさが」が開催されました。本大会は認定農業者を始めとした農家と関係機関が多数集い、情報交換と仲間づくりを行う全国規模の大会で、開催県を移しながら毎年開催されています。

大会1日目には県内外から約1,800名（うち、佐城地区から約100名）が佐賀市「SAGAアリーナ」に会し、寛仁親王妃信子殿下ご臨席のもとで「日本農業の今、「未来に継ぐ鍵」と題した講演や「全国優良農業経営体表彰」表彰式（2項を参照）、会場ロビーでは県内農業PR等が行われ、貴重な情報交換の場となりました。夕方からは参加者が県内6地区にわかれ、佐城地区では県外207名、地区内82名、計289名が「ホテル龍登園」で情報交換会を開催し、農業者同士での活発な交流の場となりました。

さらに、大会2日目は県外参加者207名がコースに分かれて佐城地区の農場や観光施設の視察を行いました。本大会で繋がった農業者同士の絆が今後の農業振興につながることを期待されます。

農事功績者表彰事業 緑白綬有功章受章者

佐賀市富士町 岡本 邦啓氏

秋篠宮皇嗣殿下の御名によって農家の経営発展及び地域貢献に対して表彰される令和6年度農事功績者表彰事業において、佐賀市富士町の岡本邦啓氏が緑白綬有功章を受章されました。

岡本氏は、中山間地域において、減農薬・減化学肥料による特別栽培米「コシヒカリ」生産を先導するとともに、ドローン活用による省力化を実現されています。さらに、ホウレンソウを周年栽培することにより地域のモデルとなる水稻複合経営を実現されています。

農業士として、長く地域おこしや都市住民との交流を促進し、大学生との農業体験研修や新規就農者育成に大きく貢献されており、益々のご活躍が期待されます。



令和6年度

全国優良経営体表彰

生産技術革新部門

株式会社石橋果樹園

令和6年度全国優良経営体表彰において、佐賀市大和町の株式会社石橋果樹園が全国担い手育成総合支援協議会会長賞を受賞されました。

株式会社石橋果樹園は、温州みかんを柱に、ブドウやモモなどを組み合わせた複合経営に取り組みれています。「みどり戦略」に則した「脱化学物質栽培」を目指し、手間と工夫を惜しまず果実本来の美味しさを追求されています。

また、県内ではいち早く海外市場に目を向け、香港、シンガポール、ベトナム等へ温州みかんを輸出されています。さらに、令和5年にはASIAのAVPを取得され、安心安全な販売を展開されています。

地元では、若手の声を地域の将来ビジョンに反映させるなど、リーダーシップを発揮されており、今後益々のご活躍が期待されます。



職員 転入者紹介 よろしくお願いします



農業企画課
岩石係長



農業企画課
猿渡技師



普及課
園芸
田中技師



北部普及課
園芸
浦田係長



北部普及課
園芸
江頭技師



古賀信一郎
佐賀市川副町
トマト+米



田中利秋
佐賀市富士町
米+ホウレンソウ
+タマネギ

新任農業士紹介 よろしくお願いします

お世話になりました

陣内係長 (東松浦農業振興センターへ)
坂井係長 (農山村課へ)
仲原主査 (東松浦農業振興センターへ)
串崎技師 (藤津農業振興センターへ)
中島技師 (園芸農産課へ)



お世話になりました

船山真由美 (多久市 米+露地野菜)
池田太平 (佐賀市川副町 米麦+トマト)
畑瀬一武 (佐賀市富士町 米+ホウレンソウ+七草)



集落営農法人の 更なる発展を目指して

11月5日に、75の集落営農組織と26の法人を参集した佐城地区集落営農組織・法人研修会を開催しました。

(公) 佐賀県農業公社の鍵山専務理事からは「地域計画の策定と農地中間管理事業について」講演いただき、JAさが県域担い手サポートセンターからは、生産組合や法人組織へのアンケート結果が報告されました。

また、みやき町の(農)江口ファームからは、法人の運営状況に加え、露地野菜や体験農園など経営多角化の取組を紹介していただきました。集落営農組織や法人の今後更なる経営発展に向けたヒントにつながる良い機会となりました。



佐城地区集落営農組織・法人研修会

みかんの産地見学会 & 収穫体験会開催

みかんの新たな担い手確保と、最も労働力が必要な収穫作業の労力補完を図るため、11月24日(日)にみかんの産地見学会&収穫体験会を小城市において開催しました。

当日は県内外から23名の参加があり、「にじゅうまる」や「根域制限栽培」の園地を見学した後、収穫体験をしてもらいました。天候にも恵まれ、参加者、地元生産者とスタッフで約1トンのみかんを収穫しました。

また、新規就農者への支援策や農業アルバイトマッチングアプリ「daywork」の紹介を行いました。

体験後には参加者の1名から「就農したい(予定)」、7名から「収穫アルバイトをやってみたい」との声があがりました。

今後こうした機会を設けて、担い手確保と労力補完の両面から支援を続けていきます。



収穫体験の様子

野菜作りやつてみよう セミナー in 神埼市青振 町・佐賀市三瀬村 開催

新たな野菜生産者の掘り起こしを図るため、8月17日に標記セミナーを開催しました。当日は3名が参加され、ハウレンソウ、ピーマンの圃場視察や、野菜の基礎から年間の栽培スケジュール、経営に関することなどの説明を行いました。参加者からは、多くの質問が出るなど今後の新たな担い手確保につながる手ごたえを感じました。



ハウレンソウの圃場視察

いちご・なす やつてみよう セミナー開催

令和6年12月8日にイチゴ栽培、午後にナス栽培に興味がある方を対象にした「やつてみようセミナー」をJA部会が主体となつて開催されました。

室内研修では、栽培の特徴・経営試算等や就農支援対策について紹介されました。現地研修会では圃場見学をしながら農家の体談を聞いた後は、活発な意見交換が行われました。

アンケートには就農に前向きなコメントもあり、今後も関係機関と連携しながら、このようなセミナーを開催していきます。



現地研修会の様子



普及活動の取り組み



稼げる広域営農組織の 新たな取り組み

農地を守る組織として、(株)北山神水川ファームが設立されて4年目となりました。中山間地域で稼げるモデルを目指し、県の補助事業「露地野菜100億円アップ推進事業」を活用して里芋や焼酎用カシノの面積拡大を図っています。今後も振興センターでは栽培技術指導や新規品目の検討などの支援をしていきます。



ハウレンソウの新たな担い手 に対する経営確立支援

佐賀市北部地区のハウレンソウ産地では、これまでにトレーニングファーム修了生9組12名が就農されました。就農後の安定生産とさらなる収益化を図るため、JAAと連携し、巡回や研修会による技術指導を強化しています。特に問題となっているベト病被害については品種や栽培環境の調査を行いながら対策を図っています。



夏秋ピーマンにおける新規栽培者確保・ 育成体制構築による産地活性化

佐賀北部地区では、夏秋ピーマンの生産振興を図るために新たな担い手確保のしくみづくりを進めています。令和5年度にはピーマンチャレンジファームを設置し、令和6年度は新たに2名の研修生が入学しました。トレーナー等と連携し、研修生の育成に取り組んでいます。また、適期管理の励行や関係機関と連携した技術指導により、今年はピーマン部会発足後、初めて市場販売金額1億円を達成しました。



高品質安定生産による産地 強化の実現を目指して

佐賀市東部カントリー管内では、フランスパン用小麦「さちかおり」が栽培されています。パン用に求められるタンパク質含有率の向上と収量確保のために施肥管理に重点を置いた研修会を実施してきました。その結果、令和6年産ではこれまで課題となっていたタンパク質含有率のバラつきに改善がみられました。今後現場と一体となつて麦産地の発展を目指します。



繁殖牛産地の維持に 向けた支援

繁殖牛産地を維持するため、管内生産者の意向を把握するとともに、今後の産地を担う若手生産者の意識高揚を目的に、鹿児島県の若手農家を視察しました。高度な飼養管理やグループ活動について多くの質問が飛び交うなど充実した研修ができました。佐城和牛改良組合では今年から青年部の活動が再開し、地域の生産者同士の交流が活発化するように、今後も視察研修などの場を設けていきます。



次世代を担う施設キュウリ若手 農業者の育成に取り組んでいます

近年、管内ではキュウリの新規就農者が増加し、産地の維持につながっていますが、資材の高騰等により、経営を安定させることが課題となっています。

そこで、若手と高収量農家でグループをつくり、クラウド型営農支援システムを利用し、生育およびハウス内環境データを比較分析・共有することで、データを活用した栽培技術の向上の支援を行っています。

